

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製造者情報	会社	ホーザン株式会社
	住所	大阪市浪速区幸町1-2-12
	担当部門	マーケティンググループ
	お問い合わせ窓口	ホーザンテクニカルホットライン
	電話番号	06(6567)3132
製品番号	HS-301 / HS-302 / HS-304 / HS-312 / HS-313 / HS-314 / HS-316 / HS-317 / HS-361 / HS-362 / HS-363	
製品名	ハンダ	
推奨用途及び使用上の制限	ハンダ付け	

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性	： 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 区分2
	皮膚感作性	： 区分1
	生殖毒性	： 区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	： 区分2(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 区分1(肺)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 区分2(眼、呼吸器)
(注)記載なきGHS分類区分	： 区分に該当しない／分類できない	

GHSラベル要素



注意喚起語	： 危険
危険有害性情報	： 強い眼刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害のおそれ(呼吸器系) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(肺) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(眼、呼吸器)

注意書き

安全対策	： 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 保護手袋を着用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
------	---

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

： 特別な処置が必要である。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合： 医師の診察／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合： 医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合： 多量の水／適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合： 医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合： 医師の診察／手当てを受けること。

貯蔵

： 施錠して保管すること。

廃棄

： 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
スズ	7440-31-5	93.58	-
銀	7440-22-4	2.9	-
銅	7440-50-8	0.49	-
水添ロジン	非開示	2.5	非開示
合成樹脂	非開示	0.21	非開示
その他	非開示	0.32	非開示

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分： スズ、銀

安衛法「通知すべき有害物」該当成分： スズ、銀、銅

化管法「第1種指定化学物質」該当成分： 銀

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

： 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合： 医師の診察／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合： 医師に連絡すること。

吸入した場合

： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

- ： 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水／適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合： 医師の診察／手当てを受けること。
- 皮膚刺激が生じた場合： 医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合

- ： 水で数分間注意深く洗うこと。
- コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合： 医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- ： 口をすすぐこと。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

- ： 特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤： 粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤： 水を使用してはならない。

特有の危険有害性： 火災によって刺激性、有毒及び／又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法： 危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

- ： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ： 区域より退避させる。
- 関係者以外は近づけない。
- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項： 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ： 掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

- ： 危険でなければ漏れを止める。
- 全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱者のばく露防止 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

局所排気、全体換気 : 排気／換気設備を設ける。

注意事項 : 皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡／保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値 : データなし

許容濃度

銀 : 日本産業衛生学会(1991) 0.01mg-Ag/m³
スズ : ACGIH(2019) TWA : 2mg-Sn/m³(I)(じん肺症)
銀 : ACGIH(1992) TWA : 0.1mg-Ag/m³(銀皮症)
銅 : ACGIH(1990) TWA : 0.2mg-フューム/m³
TWA : 1mg-ダスト及びミスト/m³(刺激、胃腸、金属ヒューム熱)

ばく露防止

設備対策 : 適切な換気のある場所で取扱う。
排気／換気設備を設ける。
手洗い／洗顔設備を設ける。

保護具

- 呼吸用保護具 : 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
 手の保護具 : 保護手袋を着用する。
 眼の保護具 : 保護眼鏡／顔面保護具を着用する。
 皮膚及び身体の保護具: 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

- 物理状態 : 固体
 色 : 銀色
 臭い : 無臭
 臭いの閾値 : データなし
 融点／凝固点 : 217～219℃
 沸点又は初留点 : データなし
 沸点範囲 : データなし
 可燃性(ガス、液体及び固体) : データなし
 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
 引火点 : データなし
 自然発火点 : データなし
 分解温度 : データなし
 pH : データなし
 動粘性率 : データなし
 溶解度
 水に対する溶解度 : 不溶
 溶媒に対する溶解度 : データなし
 n-オクタノール／水分配係数 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 密度及び／又は相対密度 : 7.4
 相対ガス密度(空気=1) : データなし
 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : データなし
 化学的安定性 : 通常の保管条件／取扱い条件において安定である。
 危険有害反応可能性 : データなし
 避けるべき条件 : データなし
 混触危険物質 : 強塩基、強酸化性物質
 危険有害な分解生成物 : 刺激性のガスや蒸気

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性 : データなし

労働基準法 : 疾病化学物質

スズ(金属ヒュームとして)、銀(金属ヒュームとして)、銅(金属ヒュームとして)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 製品 : 区分2 強い眼刺激

成分データ(日本公表根拠データ)

スズ : 粉じん : 眼刺激性(HSDB, Access on July 2019)

銀 : ラビット : 48時間で回復 (IUCRID, 2000)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性 : 製品 : 区分1 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

成分データ(日本公表根拠データ)

銀 : cat. 1 : ACGIH, 2001

銅 : cat. 1A : 産衛学会勧告, 2012

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : 成分データ(IARC)

合成樹脂 : Group3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

生殖毒性 : 製品 : 区分1B 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

成分データ(日本公表根拠データ)

銀 : cat. 1B : (水溶性銀化合物(酢酸銀 CAS RN : 563-63-3及び塩化銀 CAS RN : 7783-90-6))

: CLH Report, 2020 ; EFSA, 2016

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 製品 : 区分2 臓器の障害のおそれ

成分データ(日本公表根拠データ) : 区分1

銀 : 呼吸器系(ACGIH, 2001)

成分データ(日本公表根拠データ) : 区分3(気道刺激性)

スズ : 気道刺激性(HSDB, Access on July 2019)

銅 : 気道刺激性(ATSDR, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 製品 : 区分1 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

区分2 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

成分データ(日本公表根拠データ) : 区分1

スズ : 肺(ACGIH, 7th 2019)

銀 : 眼(ATSDR, ToxFAQ, 1997)

銀 : 呼吸器(HSDB, 2003)

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
水溶解度	: スズ : 溶けない(ICSC, 2004) 銀 : 溶けない(ICSC, 1997) 銅 : 溶けない(ICSC, 1993)
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: 成分データ : 銅 : $\log Pow = -0.57$ (calculated) (ICSC, 2016)
土壌中の移動性	: データなし
他の有害影響	
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
廃棄物の処理方法	: 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。 承認された廃棄物集積場で処理する。 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び包装	: 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類	
国連番号又はID番号	: 該当しない
正式輸送名	: 該当しない
分類又は区分	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

IMDG Code(国際海上危険物規程)

国連番号又はID番号	: 該当しない
正式輸送名	: 該当しない
分類又は区分	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

IATA(航空危険物規則書)

国連番号又はID番号	: 該当しない
正式輸送名	: 該当しない
分類又は区分	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質(該当／非該当) : 非該当

特別の安全対策 : 食品、飼料と一緒に輸送してはならない。

MARPOL 73/78 付属書 II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

: 有害液体物質(Y類) : 合成樹脂

MARPOL 条約 付属書 V : HME(海洋環境に有害)

生殖毒性 : 区分1, 1A, 1B 該当物質 : 銀

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 該当物質 : スズ、銀

国内規制がある場合の規制情報 : 船舶安全法に該当しない
航空法に該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則／法令

- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 特化則に該当しない
有機則に該当しない
粉じん障害防止規則(令19号)
スズ、銀、銅
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険／有害物
スズ(別表第9の322)、銀(別表第9の137)
名称通知危険／有害物
スズ(別表第9の322)、銀(別表第9の137)、銅(別表第9の379)
- 化学物質管理促進(PRTR)法 : 第1種指定化学物質
銀及びその水溶性化合物(銀として) 2.9% (管理番号82)
- 消防法 : 該当しない
- 化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質
: 該当しない
- じん肺法 : スズ、銀、銅
- 大気汚染防止法
有害大気汚染物質 : 銀(中環審第9次答申の45)、銅(中環審第9次答申の128)
- 水質汚濁防止法 : 指定物質 : 銅(法令番号53)
- 製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。
詳しくは各法令をご確認ください。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
IATA航空危険物規則書 第65版(2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data / information

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意してください。

このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。
